

■用語集

ア

アイデンティティ	独自性、個性、主体性のこと。
空き家バンク	個人が所有する、現在居住していない住宅を賃貸、売買したいという空き家所有者に登録してもらい、登録された情報を市町村がホームページに公開し、移住したい人に紹介する仕組みのこと。
アドプト・プログラム	行政、地域住民団体などが協力・分担内容などを定めて協定を結び、清掃や緑化などの美化活動を継続的に実施する仕組みのこと。
インセンティブ	目標実現を促すための刺激策のこと。
駅勢圏	鉄道駅を中心として、その駅を利用する人が利用できる範囲のこと。

カ

コミュニティ	地域住民が生活している場所。住民が関わりあいながら、交流が行われている地域社会。あるいはそのような住民の集団のこと。
--------	--

サ

3R	環境に配慮し、ごみをできるだけ少なくする基本的考え方、Reduce（減らす）、Reuse（繰り返し使う）、Recycle（再資源化する）の3つの頭文字をとったもの。
市街化区域	既に市街地を形成している区域及びおおむね10年以内に優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域。ここでは用途地域が指定され、都市施設の整備、市街地再開発事業などが積極的に行われる。
市街化調整区域	市街化を抑制すべき区域。
市街地再開発事業	低層の木造住宅等が密集し、生活環境の悪化した平面的な市街地において、権利変換方式等を用いて都市整備を行い、土地の高度利用による安全で快適な都市環境を創造しようとするもの。
職住近接	職場と住居が近接していること。これにより通勤時間の短縮やゆとりの向上などが期待できる。
人口集中地区（DID地区）	人口密度の特に高い地区のことで、基本単位の人口密度が40人/ha以上の地区が連続し、かつ隣接する基本単位区との合計人口が5,000人以上であることが条件。
人口ビジョン	人口減少・超高齢化社会に対応した施策を企画立案するため、人口の現状を分析するとともに今後目指すべき方向をまとめたもの。
ストック	道路や公園など都市を円滑に運営するために形成されてきた施設のこと。

ストックマネジメント	長期的な視点で公共施設の老朽化の進展状況を考慮し、優先順位付けを行ったうえで、施設の点検・調査、修繕・改善を実施し、施設全体を対象とした施設管理を最適化する手法のこと。
スプロール化	町の中心部から郊外へ向かって開発が無秩序に拡大していくこと。
スポンジ化	人口減少などに伴い、空き地や空き家などの低利用地が点在すること。
総合計画	めざすべき将来像とこれを実現するための基本的な方向を明らかにするとともに、行政の各分野における計画や方針を統括する計画で、行政の最上位計画として位置づけられる。
タ	
地域防災計画	災害が発生した場合に町民の生命、財産、生活を災害から守るとともに、防災行政の推進を図るため、町と各防災関係機関の平常時からの備えや災害発生時における対応を定めた計画のこと。
地区計画	地区の特性にふさわしいまちづくりを進めるため、地区レベルの視点に立って、宅地まわりの生活環境を整備したり、保全したり、土地利用をきめこまかくコントロールする制度。
都市計画区域マスタープラン	広域的な観点から、都道府県が都市計画区域ごとに都市計画の基本的な方針を定めた計画のこと。
都市構造	都市は人間の活動が様々な形で集合し、互いに連携しながら構成されているその構成要素のこと。
ハ	
バリアフリー	高齢者や障がい者、妊婦、傷病者などが社会生活を送るうえで、障壁となるものを取り除くこと。
防災マップ	ハザードマップともいい、自然災害による被害を予測し、その被害範囲や程度、避難場所や避難経路などを地図上に示したもののこと。
ポテンシャル	その場所が持っている特性や可能性。
マ	
まち・ひと・しごと創生総合戦略	人口ビジョンを踏まえ、将来にわたり活力ある地域を維持していくために、地方創生の戦略をまとめた計画のこと。
マネジメントサイクル	まちづくりを計画的に効率よく実現するために、実施の段階ごとに評価、見直しを行う手法のこと。PDCA もその手法のひとつ。
ラ	
リノベーション	既存住宅について、それまでの機能を刷新し、新しい価値を生み出すような改修のこと。

田原本町 都市計画マスタープラン

子どもから高齢者まで 誰もがいきいきとした
暮らしを楽しむまち たわらもと

2019年（平成31年）4月 改定

2024年（令和6年）4月 改訂

発行：田原本町 まちづくり建設課

〒636-0392 奈良県磯城郡田原本町 890-1

TEL : 0744-32-2901

FAX : 0744-32-2977

Email: info@town.tawaramoto.nara.jp
